

はじめに

八女地域は、県内屈指の農業地域であり、イチゴを始め、電照ギク、荒茶、米、トマト、ナス、ミカン、ブドウ、キウイフルーツ、ガーベラ等の主要品目は、県内の上位です。

総農家戸数 7,280 戸、うち主業農家 2,107 戸(2010 年センサス)、認定農業者数 1,232 名(平成 25 年 3 月末)で、主業農家と認定農業者は県内の約 2 割を占めています。

当普及指導センターでは、本年度、次の農業振興の方向のもと、重点課題と一般課題を設定し、生産部会・J A・市町等の関係機関・団体と連携し、普及活動を展開しました。

(農業振興の方向)

- ・ 価格低迷や生産資材高騰による所得率低下があり、認定農業者等の経営体質強化を図る。また、女性農業者の経営参画や起業を促進。
- ・ 水田農業については、集落営農組織の法人化、既存法人の経営安定、大規模農家の経営強化を図る。また、県育成品種の水稻「元気つくし」・小麦「ちくしW2号」や優良種子の高品質・安定生産を図る。
- ・ 野菜・花き・果樹については、産地改革強化計画の目標達成を図るとともに、八女園芸農業を担う雇用型経営を育成する。また、新規品目と新規参入者の拡大を図る。
- ・ 中山間地域では、茶の振興・経営安定を中心に、複合品目導入や推進品目の出荷販売体制確立を推進。また、茶への嗜好性の多様化に対応する需要喚起の取組を推進。
- ・ 農業士・女性農村アドバイザー、関係機関と連携し、新規就農者の育成・確保を図るとともに、4Hクラブ員等の青年農業者の資質向上を推進。

また、2012 年 7 月の豪雨災害により、中山間地域を中心に甚大な被害を被りました。災害からの復旧・復興のため、八女市農業復興推進会議を中心に関係機関一体となって、被災農家の経営状況把握や経営・技術の支援を行いました。

この活動成果集は、数年取り組んでいる活動も含め本年度の主な成果をご報告するものです。経営改善や技術向上の手法、地域や産地の振興方策などを参考にいただき、今後の農業経営の改善、地域農業の振興に、ご活用いただければ幸いです。

平成 26 年 3 月

福岡県筑後農林事務所 八女普及指導センター長 近藤邦彦